



～6年生修学旅行での平和学習～

学校長 紀谷 貴美子

【全校児童の折った折り鶴】



5月28日、29日と6年生が修学旅行に行ってきました。1日目は平和学習を中心に広島のに、2日目は、宮島の厳島神社と水族館に行きました。

今年の平和学習では、追悼平和祈念館にて被爆体験者である八幡照子さんの講和をお聞きし、その後、グループで平和記念公園内の建物や資料館、慰霊碑や像を、公園外では爆心地や本川小学校平和資料館などをフィールドワークしました。平和記念公園を出発すると、当時、軍服の工場と保管倉庫であった旧陸軍広島被服支廠の被爆建物の見学をしました。広島は日清戦争の頃から旧陸軍の大本営や通信指令室もあり、日本軍の中心地（軍都）でもありました。また、原子爆弾による最大の被災地でもあります。まさに広島のに戦争の爪痕を両面で抱えています。戦争の深い歴史や傷跡を広島のを歩いて、見て、聞いて、体感しました。戦争はあってはならないこと、戦争を起こしてはいけないという思いがより一層深まったことと感じます。

校内の平和学習で平和を願い、全校児童で折り鶴を折りました。6年生が1年生から5年生までの児童に折り鶴の折り方を教え、折ってもらいました。心を込めて作った折り鶴を6年生が代表して平和記念公園内にある佐々木貞子さんの像に捧げてくださいました。

また、学校に帰ってからも、修学旅行で学んだことをふり返りながら、平和についての学習は続きます。

今なお、世界の中では、戦争が起こり、民や子どもたちが、命の危険にさらされている国があります。世界中が平和であるためには、「戦争をしてはいけない」、「命の尊さ、平和の大切さ」を継続して子どもたちに伝えていかなければならないと思います。ご家庭でもこの機会に、平和についての話をしてみてください。